

## 横浜トリエンナーレって？

「横浜トリエンナーレ」は、横浜市で3年に一度開かれている美術の大きな展覧会です。2001年に始まり、今年で8回目です。今回は、中国の北京に住むリウ・ディンとキャロル・インホワ・ルーが「野草：いま、ここで生きてる」というテーマで、世界中からさまざまなアーティスト(芸術家)の作品をえらびました。ぜひ会場に来て作品に出会い、たくさんのことを発見してください。

### 「野草：いま、ここで生きてる」とは

「野草」という言葉は、1927年に中国の小説家、魯迅が発表した詩集『野草』からとられています。およそ100年前、革命を経て中国が目まぐるしく変化した時代に、魯迅はとても苦しい思いをしました。そんな絶望の中に小さな希望を見出し、弱いけれどもたくましく生きる野の草に自分の生き方をたとえました。いま、世界はコロナ禍や戦争、環境破壊などに苦しんでいます。それは魯迅が生きた時代に重ね合わせることができるかもしれません。魯迅の時代をヒントにして、いまのわたしたちの生き方をふり返り、その先にある希望を見出しましょう。



### リウ・ディンとキャロル・インホワ・ルーからのメッセージ

「野草」には、私たちが体験したように、ひとつの世界—きめ細かな砂やはげしい嵐、小川や岩、夜空や遠くはなれた場所—が描かれています。そこで私たちは、過去と現在にひそむ闇や痛みを目の当たりにし、花びらと星の光に目を開けるのです。私たちがもらったこの贈り物をあなたにお渡しします。あなたが野草のように、ふみつけられても立ち上がり、自分の意思を貫き通すことを願って。



## ●美術館がはじめての人も大歓迎

美術館で作品に向き合って、そのパワーを感じてみよう。

## ●全部みなくてもOK 好きなところからみよう

会場にはたくさんの作品があります。まずは全体をながめて「みたい」と思ったものからみてみよう。どこから始めてもいいよ。つかれたら休けいしよう。



## ●わからなくても大丈夫 よくみてみよう

少しみただけではわからないものもあるかもしれない。まずはじっくりみて、全体と細かいところを観察しよう。次に、作者の考えや思いを想像してみよう。ナゾはナゾのままでも大丈夫。わからないことも楽しんじゃおう！

## ●だれかと話してみよう

作品をみて気づいたことや感じたことをだれかと話してみよう。同じことを考えているかもしれないし、ちがうかもしれない。ナゾが解決するかもしれないし、もっと深まるかもしれない。きっと新しい発見があるよ。

### みんなが気持ちよく過ごすために気をつけたいこと

作品を大切に  
作品やケースには  
さわらないようにしましょう

ゆっくり歩こう  
走るとあぶないよ

声の大きさに  
気をつけよう  
静かにみたい人もいるよ

メモはえんぴつで  
ボールペンや  
シャープペンシルは  
作品を傷つけてしまうかも

